

HIV-1 Nef

05-011 20 µg,

05-012 100µg

HIV-1 Nefは、エイズウイルス複製の初期に合成されるアクセサリ蛋白質の1つで、感染細胞内に多く存在する。当初、ネガティブ因子(**negative factor**)からこの名前がついたが、現在では、エイズウイルスの最も重要な生物学的特性を担う蛋白質として注目されている(1)。この蛋白質は、宿主T細胞にある情報伝達蛋白質に直接作用し、エイズウイルス感染に、あるいは感染細胞の生存維持に有効に働き、非感染細胞に対しては、アポトーシスを誘導する(2)。また、エイズウイルスの感染に重要なCD4やMHCといった細胞表面レセプター蛋白質のエンドサイトーシスや分解にも関係している。

本品は、HIV-1 ウイルスゲノム(サブタイプ B(3))の *nef* 遺伝子をプラスミドにクローニングし、大腸菌で多量に発現させ、クロマトグラフ法などにより高度に精製したものである。エイズウイルス粒子から精製された Nef と同じく、分子量が 27 kD である(図1)。

用途

- 1) HIV-1 Nef の機能解析を目的とした分子生物学的、あるいは細胞生物学的研究に使用できる。
- 2) HIV-1 Nef 抗原の定量を行う場合のスタンダードとして使用できる。
- 3) ウェスタンブロット法や ELISA 法を用いた抗 HIV-1 Nef 抗体の検出に Nef 抗原として使用できる。

製品の性質

純 度: SDS-PAGE (CBB 染色) で 90%以上が Nef 蛋白質

濃 度: 0.48 mg/ml (BCA 法で決定)

性 状: 50% グリセロール, 20 mM Tris-HCl (pH 7.5), 50 mM NaCl, 10 mM メルカプトエタノール

保 存: -20°C

データリンク GenBank: [AAA44988.1](#)

文献

1. Arora VK *et al* "Nef: agent of cell subversion." *Microbes Infect* **4**: 189-199 (2002) Review PMID: [11880052](#)
2. Fackler OT and Baur AS "Live and let die: Nef functions beyond HIV replication." *Immunity* **16**:493-497 (2002) Review PMID: [11970873](#)
3. Adachi A *et al* "Production of acquired immunodeficiency syndrome-associated retrovirus in human and nonhuman cells transfected with an infectious molecular clone." *J Virol* **59**: 284-291(1986) PMID: [3016298](#)

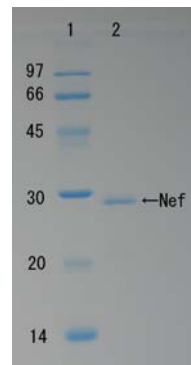


図 1. HIV-1 Nef タンパク質のポリアクリルアミドゲル電気泳動